

わが家の防災メモ

ご家族で相談して記入して下さい

緊急連絡先

※携帯電話および市外からは市外局番(054)をつけておかけください。

連絡先	電話	連絡先	電話
志太消防本部情報指令課	623-1119		
焼津警察署	624-0110		
焼津市立総合病院	623-3111		
焼津市役所	626-1111(代)		
焼津市水道総務課・水道工務課	624-0111		
同報無線音声応答サービス	656-2727		

家族・親戚・知人の緊急連絡先

名前	電話	メモ	名前	電話	メモ

避難所

避難所	地域で指定した避難所など
家族が離ればなれになった時の集合場所	

災害時の声の伝言板 171 災害用伝言ダイヤル

災害時には電話が混雑し、家族と連絡が取れなくなる方が多くいます。そんなときには「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数など、利用方法についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

録音方法 171→1→電話番号 案内放送が流れます。固定電話は市外局番(054)が必要です。	再生方法 171→2→電話番号 案内放送が流れます。固定電話は市外局番(054)が必要です。
--	--

※災害用伝言ダイヤルは、一般電話のほかに公衆電話、携帯電話からも利用できます。

災害用伝言板 web171 (https://www.web171.jp/)

NTTdocomo  http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi	au(KDDI)  http://dengon.ezweb.ne.jp/	SoftBank Y!mobile  http://dengon.softbank.ne.jp/	パソコンなどからも伝言が確認(災害時のみ)できます。 ※詳しくは、各携帯電話会社にお問い合わせください。
--	---	---	---

焼津市洪水ハザードマップについてのお問い合わせ

●浸水想定に関すること

焼津市建設部河川課

電話番号：054-626-1118

FAX番号：054-626-9416

Email：kasen@city.yaizu.lg.jp

●避難に関すること

焼津市防災部地域防災課

電話番号：054-623-2554

FAX番号：054-625-0132

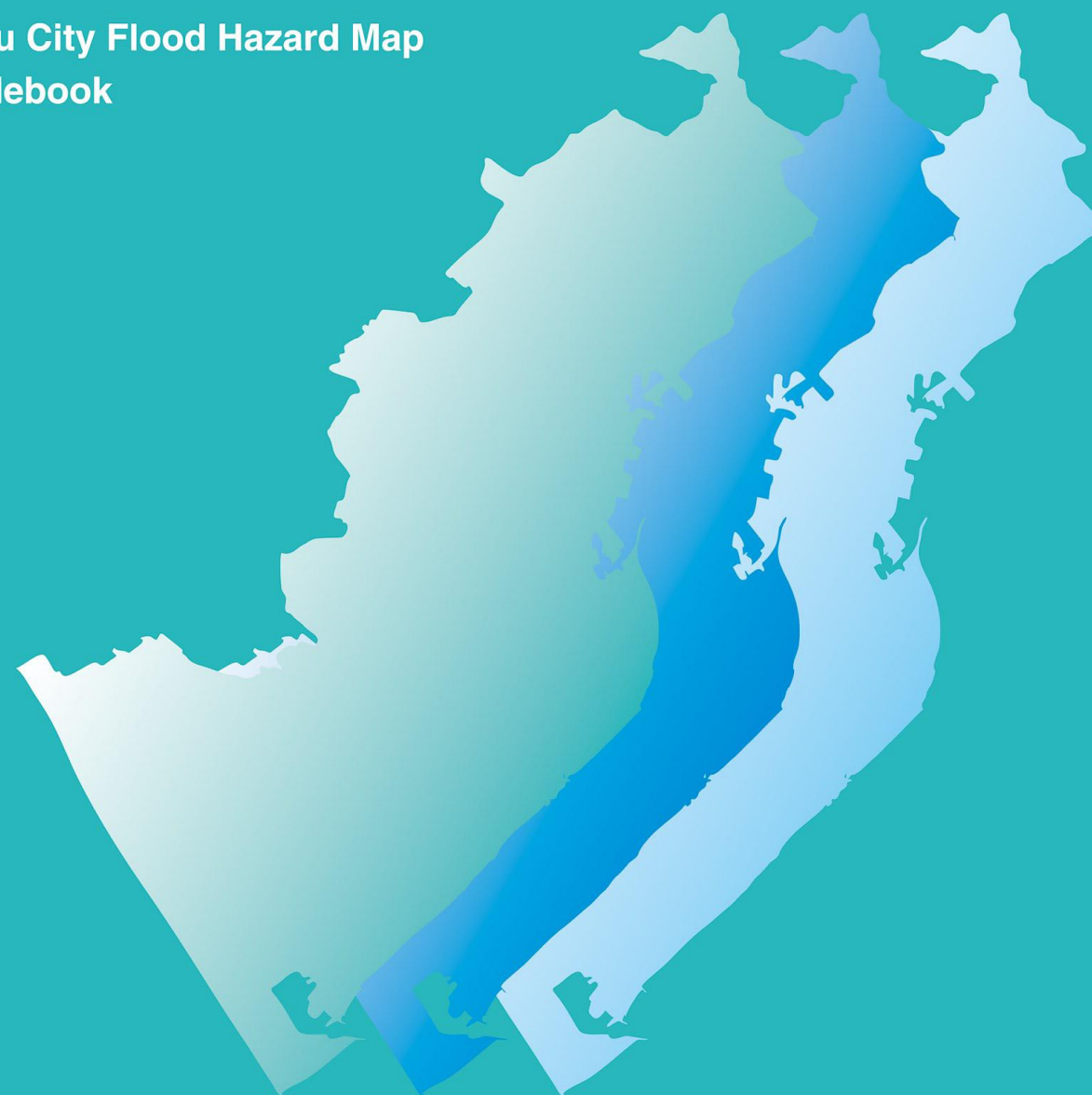
Email：tiikibousai@city.yaizu.lg.jp

2022年3月発行

焼津市 洪水ハザードマップ ガイドブック

保存版

Yaizu City Flood Hazard Map
Guidebook



焼津市洪水ハザードマップは、大井川や瀬戸川など13河川が、**1000年に1回程度**の確率で降る大雨により氾濫したと仮定しておこなった、**浸水予想結果の情報**や**避難に関する情報**などをまとめたものです。

災害対策基本法改正（令和3年5月）を受け、避難情報の名称が変わりました。

避難情報と警戒レベルを知っておこう

警戒レベル	避難情報等	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保 〔市が発令〕	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに必ず避難！> 【警戒レベル3】や【警戒レベル4】の避難情報で必ず避難をしましょう 【警戒レベル5】の発令を待ってはいけません！		
重要な避難情報	4 避難指示 〔市が発令〕	速やかに全員避難
	3 高齢者等避難 〔市が発令〕	速やかに高齢者等は避難 避難に時間を要する人やその支援者は、 速やかに避難を開始しましょう。
	2 大雨注意報 洪水注意報等 〔気象庁が発表〕	自らの避難行動を確認 避難先、避難経路、持ち出し品の確認をしましょう
	1 早期注意情報 〔気象庁が発表〕	災害への心構えを高める

「警戒レベル4 避難指示」までに
必ず避難をしましょう

焼津市における過去の洪水

●昭和49年「七夕豪雨」朝比奈川決壊



避難の様子(東益津小学校)

●昭和57年「台風18号」瀬戸川決壊



堤防決壊直後の様子(駅北地区)

目次

1. 洪水ハザードマップから避難を考える	1
①災害に対する心得	
②洪水ハザードマップ(地図面)の情報	
③浸水継続時間図(栃山川以北)	
④浸水継続時間図(栃山川以南)	
⑤避難について考える・避難行動メモ	
2. 避難の心得	11
①日頃からの5つの備え	
②避難先の検討	
③立退き避難(水平避難)の留意点	
④避難への事前の備え	
⑤避難への事前の備え【チェックリスト】	
3. 情報の入手方法	15
①警戒レベルと避難行動	
②気象情報や避難情報の入手方法	
4. 事前の心得	20
①避難所	
②家庭でできる浸水対策	
③水害発生メカニズム	
④土砂災害の基礎知識	
⑤浸水ナビ	
⑥市内を流れる河川と標高	
5. わが家の避難行動計画を作成してみよう	26

洪水にまつわる文化

市内には、流域に暮らす人と洪水の歴史を感じさせる遺構・文化が今も残っています。

●舟形屋敷

大井川の洪水をおそれた人々が考えた「船のへさき形の屋敷」です。上流方向に向け鋭三角形に屋敷どりをし、水を防ぐ工夫がされています。



●馬頭観音

瀬戸川の決壊・氾濫を防ぎ水害からまちを守ってくれた言い伝えがあります。「川除け地藏さん」と呼ばれています。



1 洪水ハザードマップから避難を考える

1 災害に対する心得

災害を他人事ではなく、自分のこととして捉え、日頃から「いざという時」の備えをしておくことが重要です。

「大雨の発生頻度が高まっている」 ことを知る

気候変動により雨の降り方が変化し、全国的に大雨による災害が発生しています。



「もし洪水が発生したら」 をイメージする

起こるかもしれない洪水を事前に考えることから、命を守る行動が始まります。

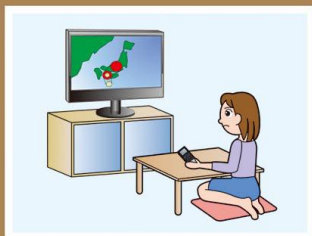
「自分の命は自分で守る」 「自分たちの地域は自分たちが守る」

いざという時、自分の命を守るのは自分自身であるという基本認識や、地域内での相互の助け合いが重要です。



「気象情報や河川の情報」を探す

気象情報、降雨量、河川の水位など避難行動に必要な最新情報を得ることが大切です。テレビやインターネットから刻々と変化する状況を手でできます。

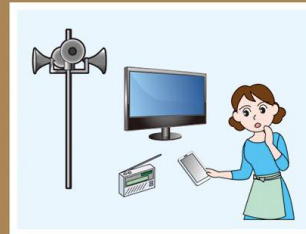


洪水は、地震と違って急に起こるものではないんだよ。だから、事前の備えがあれば、あわてずに避難できるんだ。さあ、ハザードマップを見てみよう!



「避難に関する情報」を得る

市から発令する避難指示などの避難情報は、テレビ・やいづ防災メール・焼津市LINE・同報無線など様々な方法で発信されます。



「避難」とは何かを知る

避難とは「難」を「避」けることで、避難所に行くことが全てではありません。今いる場所が安全であれば、そこに留まることができます。また、安全な場所であれば、自宅や親戚宅、知人宅、宿泊施設も避難先となります。

Point!



要配慮者利用施設^{※1}の管理者や利用者の皆さんは、事前に浸水深などを確認し、避難方法を話し合っておきましょう。なお、要配慮者利用施設では「避難確保計画」の作成が必要となります。

焼津市 避難確保計画

検索



※1:「要配慮者利用施設」とは、災害時に特別な配慮を要する方々が利用する施設で、社会福祉施設や医療施設などです。

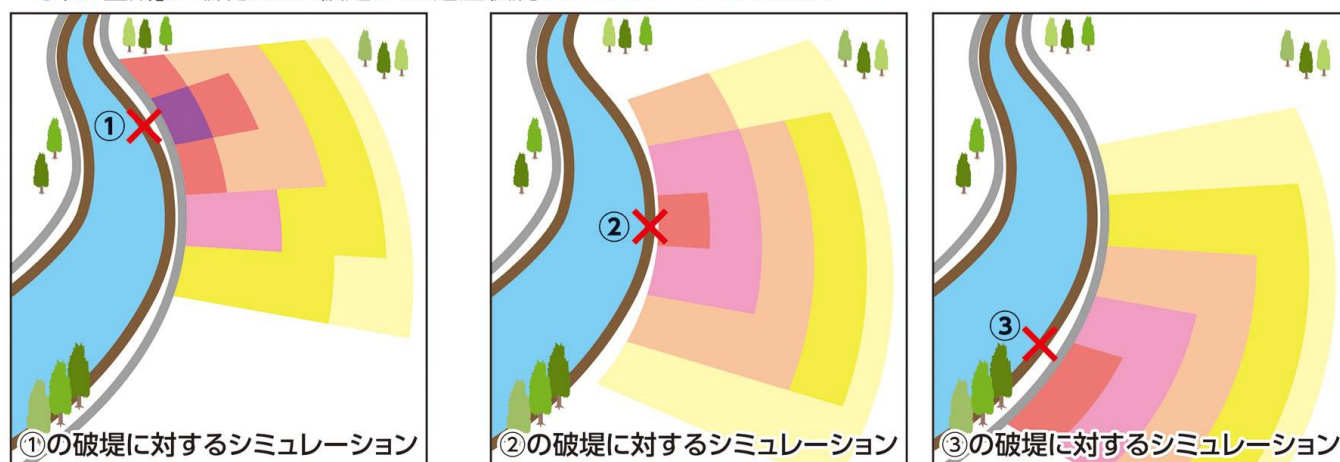
2 洪水ハザードマップ(地図面)の情報

洪水浸水想定区域図

洪水ハザードマップには、洪水浸水想定区域図が表示されています。これは、**想定最大規模の降雨**※による氾濫シミュレーションを行い「浸水範囲」や「浸水深さ」を色分けして表示したものです。

氾濫シミュレーション

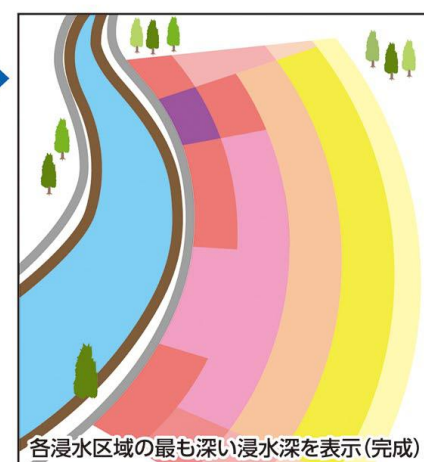
●「×箇所」が破堤したと仮定して、氾濫状況をシミュレーションします。



洪水浸水想定区域図

●各浸水区域の最も深い浸水深を表示します。

①～③を重ね合わせる



【重要】

焼津市洪水ハザードマップでは、**対象河川ごとの洪水浸水想定区域図を重ね合わせています。**したがって、一度の洪水ですべての範囲が浸水するということではありません。また、色がついていない場所でも高潮などの要因により、浸水する可能性があります。

河川ごとの浸水範囲や浸水深さなどを知りたい

Web版焼津市洪水ハザードマップで確認できます。
(パソコン・スマートフォン対応)

焼津市 洪水ハザードマップ

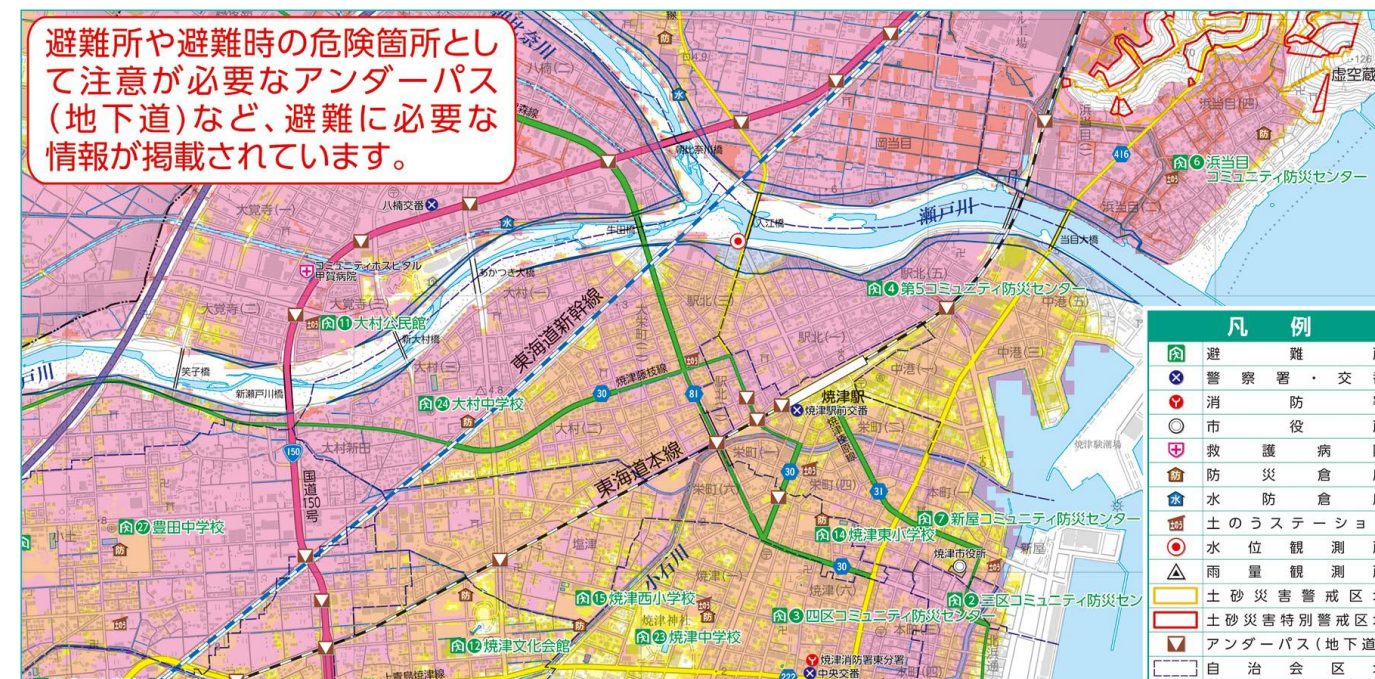
検索



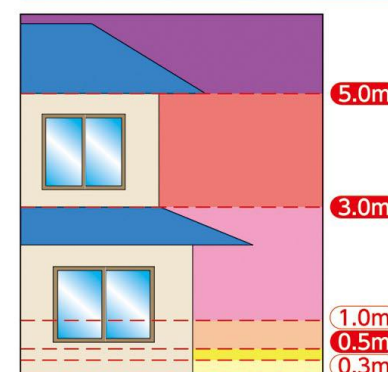
※**想定最大規模の降雨とは**
1000年に1回程度の確率で降る大雨

発生する確率は、極めて低いものですが、近年の水害の激甚化を踏まえ最大規模の降雨を想定したものです。

掲載されている内容



「浸水深」について



浸水深の目安には、次の意味があります。

- 5.0m: 一般的な家屋の2階が水没する高さです。
- 3.0m: 一般的な家屋の2階床下高です。これを超える場合は、2階への避難が危険となるおそれがあります。
- 0.5m: 一般的な家屋の1階床高です。これを超える場合は、床上浸水のおそれがあります。

家屋倒壊等のおそれのある区域

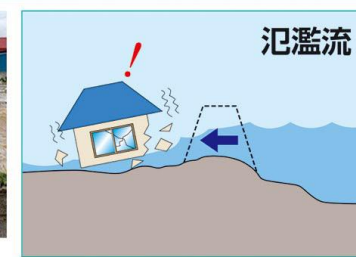
川沿いの地域では、堤防が決壊した場合の激しい流れにより家屋が倒壊する区域(氾濫流)や、激しい流れにより堤防や地盤が削られることが想定される区域(河岸侵食)があります。この区域を「**家屋倒壊等氾濫想定区域**」といいます。

この区域では、確実に安全な場所へ移動する立退き避難(水平避難)が必要です。

(地図上の表示)

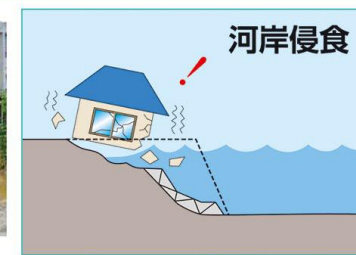
氾濫流(紫色)

【区域が存在する河川】
大井川



河岸侵食(濃藍色)

【区域が存在する河川】
大井川・瀬戸川・朝比奈川・栃山川・木屋川



3 浸水継続時間図(栃山川以北)

浸水継続時間とは、想定最大規模の降雨により、**河川が氾濫した場合に、深さ50cm以上の浸水が継続する時間です。**なお、浸水継続時間図の対象河川は、長時間の浸水が想定される、瀬戸川、朝比奈川、葉梨川、栃山川、木屋川です。

浸水深が50cm以上では、外に出ることができず、そこに留まることとなります。避難先の検討や食料品の備蓄など、必要な備えをするための参考情報として確認してください。

※河川の浸水想定継続時間図について賢く読んでください

浸水継続時間の目安

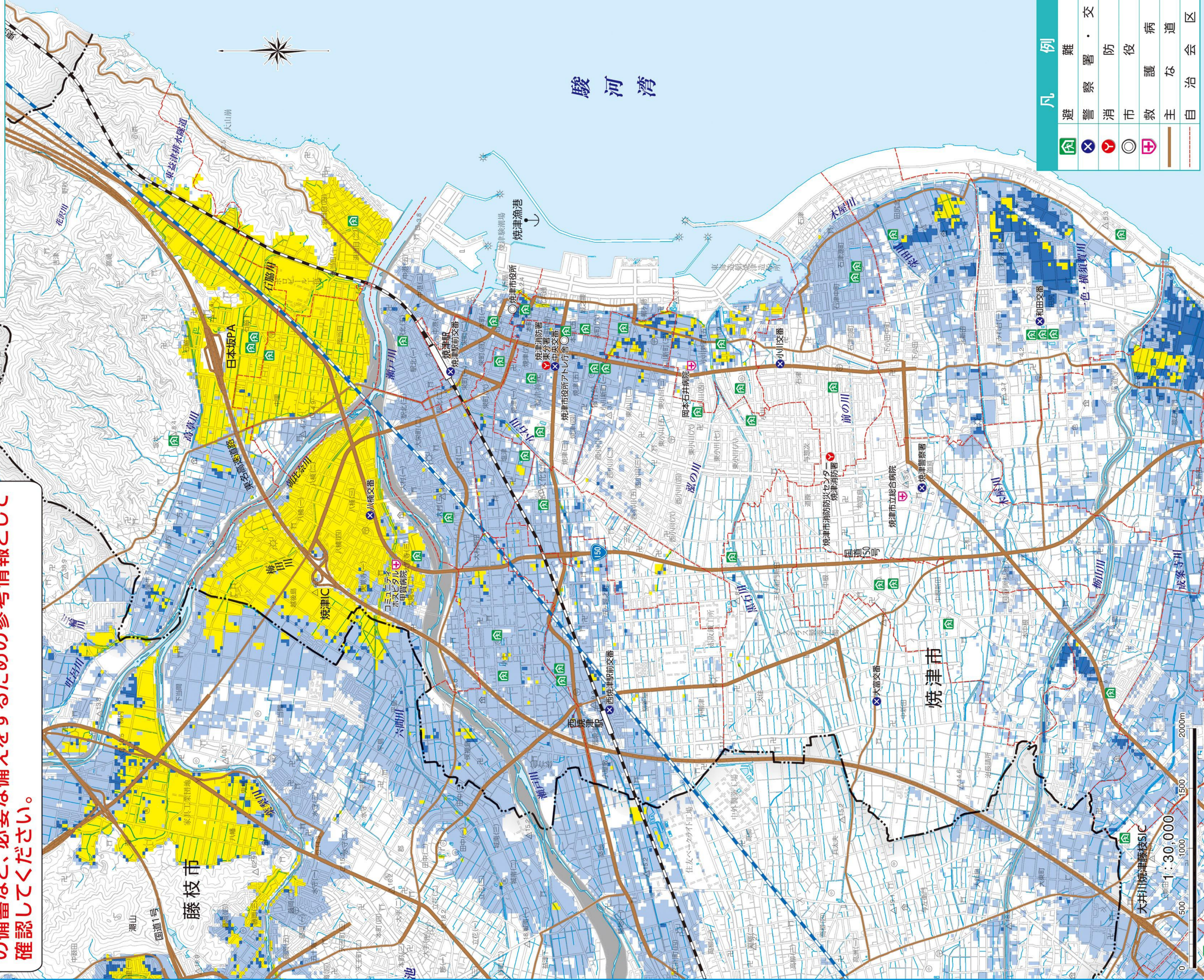
浸水した場合に予想される継続時間

12時間未満の区域

12時間～24時間未満の区域(1日間)

24時間～72時間未満の区域(3日間)

(市内の最大浸水継続時間:41時間)



凡 例		避難所
	避難所	避難所
	警察署・交番	警察署・交番
	消防署	消防署
	市役所	市役所
	救護所	救護所
	主要道路	主要道路
	自治会区	自治会区

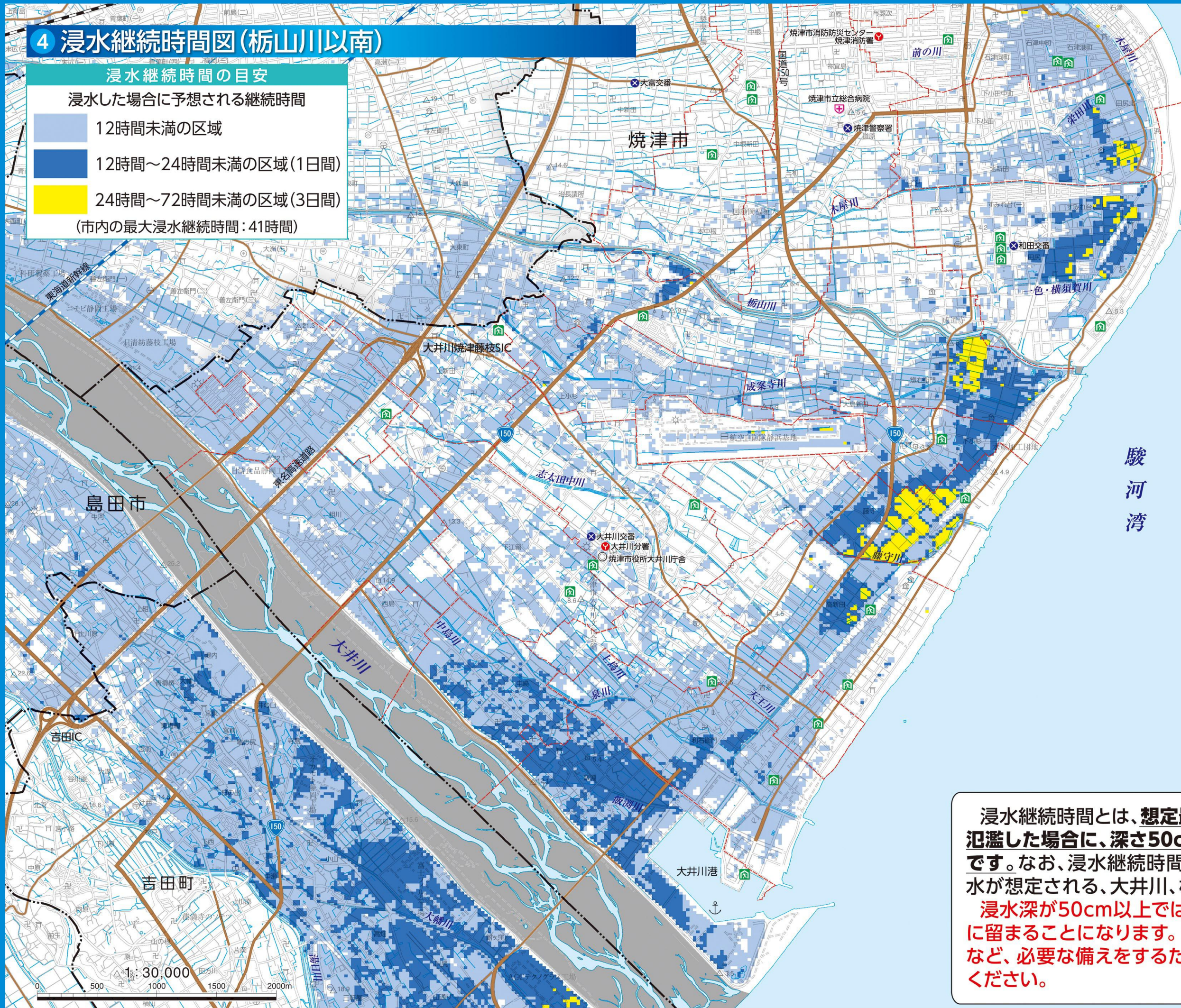
4 浸水継続時間図(栃山川以南)

浸水継続時間の目安

浸水した場合に予想される継続時間

- 12時間未満の区域
- 12時間～24時間未満の区域(1日間)
- 24時間～72時間未満の区域(3日間)
(市内の最大浸水継続時間: 41時間)

凡 例		
	避 難	所
	警 察 署 ・ 交 番	
	消 防 署	
	市 役 所	
	救 護 病 院	
	主 な 道 路	
	自 治 会 区 域	



浸水継続時間とは、**想定最大規模の降雨により、河川が氾濫した場合に、深さ50cm以上の浸水が継続する時間**です。なお、浸水継続時間図の対象河川は、長時間の浸水が想定される、大井川、栃山川、木屋川、大津谷川です。
浸水深が50cm以上では、外に出ることができず、そこに留まることになります。避難先の検討や食料品の備蓄など、必要な備えをするための参考情報として確認してください。

5 避難について考える・避難行動メモ

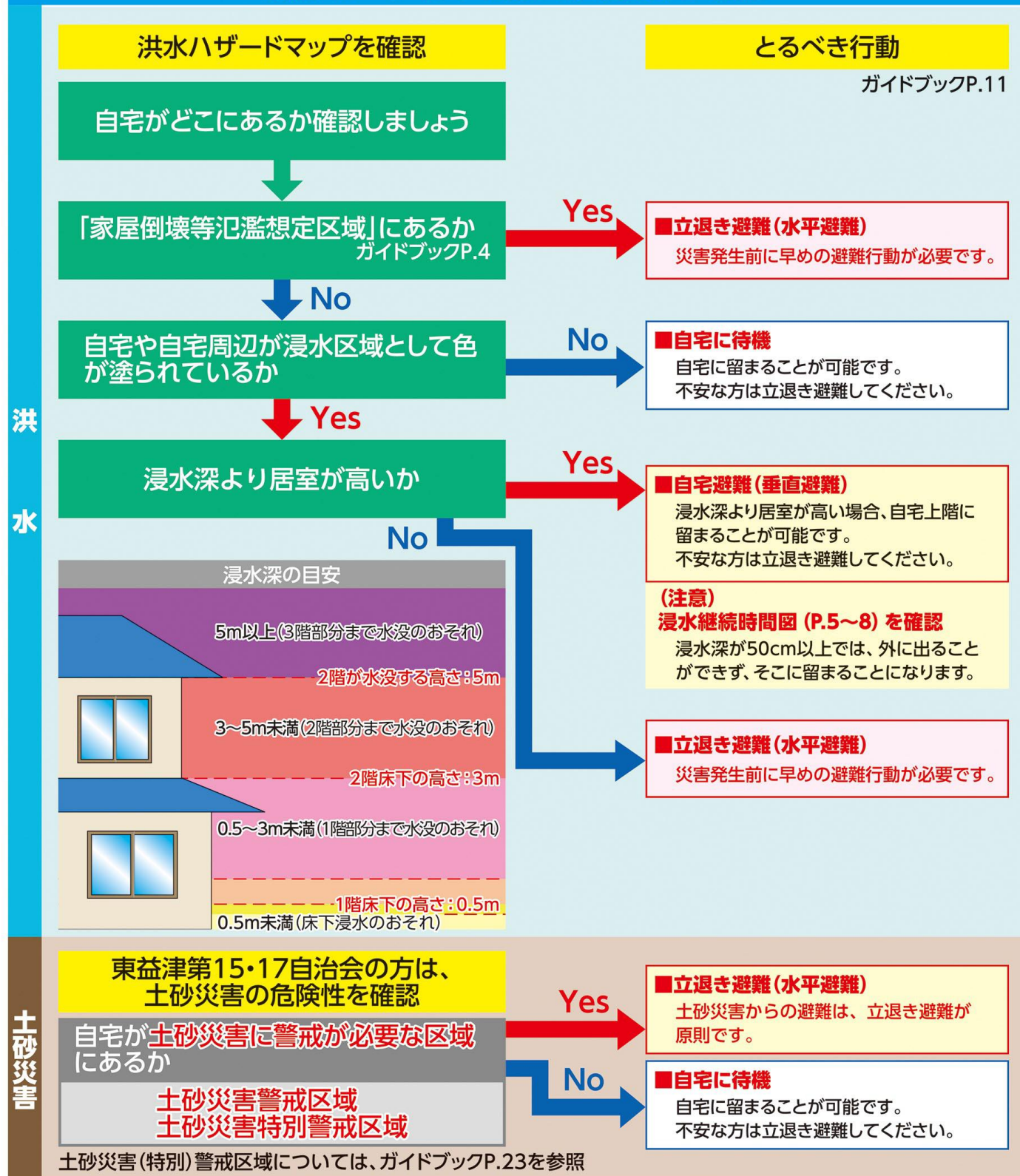
やってみよう

- ① 「避難行動判定フロー図」に沿って、洪水ハザードマップを確認してみよう
 - ② 「避難のタイミング判定フロー図」(P.10)を確認してみよう
- 次に、「わが家の避難行動メモ」(P.10)を書いてみよう！



避難行動判定フロー図

洪水ハザードマップを使って避難行動を考える



避難のタイミング判定フロー図

ご自身または一緒に避難する方で、避難に時間がかかる人はいるか
(高齢者、障がいのある方、乳幼児やその支援者など)

Yes

No

●避難のタイミング
警戒レベル3
「高齢者等避難」が発令されたら
避難開始

●避難のタイミング
警戒レベル4
「避難指示」が発令されたら
避難開始

※避難情報については、ガイドブックP.15「警戒レベルと避難行動」を参照。

わが家の避難行動メモ

自宅の浸水深 m ~ m	自宅は家屋倒壊等氾濫想定区域内か 区域内 ・ 区域外
自宅の浸水継続時間 時間	自宅は土砂災害(特別)警戒区域内か 区域内 ・ 区域外

とるべき行動 (※不安な方は立退き避難)

自宅避難(垂直避難)・立退き避難(水平避難) [避難先]

避難のタイミング

警戒レベル3
「高齢者等避難」で避難を開始

警戒レベル4
「避難指示」で避難を開始

自由記載欄

2 避難の心得

1 日頃からの5つの備え

いざという時のために、普段から避難に必要なことを整理し、備えておきましょう。

1 避難先や避難経路を確認しておきましょう。



2 家庭備蓄と非常持出品の準備をしておきましょう。



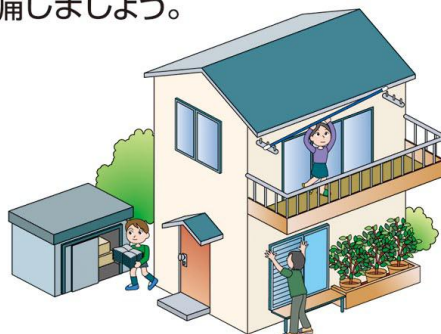
3 気象状況や災害情報に注意しましょう。



4 一人暮らしのお年寄りなど避難行動の支援が必要な方に気配りしましょう。



5 大雨や台風に備えて、家の周りを点検・整備しましょう。



2 避難先の検討

避難先は避難所だけでなく、安全な親戚宅や知人宅、宿泊施設へ避難する**立退き避難（水平避難）**や自宅に留まり2階以上へ避難する**自宅避難（垂直避難）**など、状況に応じて避難先を検討し、確実に避難することが大切です。

立退き避難（水平避難）と自宅避難（垂直避難）



立退き避難【水平避難】

水害発生前に浸水しない安全な場所へ避難しましょう。

自宅避難【垂直避難】

家屋倒壊等氾濫想定区域外で、自宅に想定される浸水深より高い居室があれば、上階への避難が可能です。

家屋倒壊等氾濫想定区域や土砂災害（特別）警戒区域では、立退き避難が原則です。

3 立退き避難（水平避難）の留意点

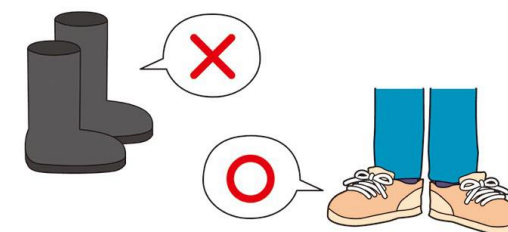
● 2人以上での避難を

避難する時は、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。



● 避難は歩きやすい靴で

ゴム長靴は歩きにくいので、はき慣れた底のかたい靴をはいて避難しましょう。



● 足元に注意

浸水時の避難は、足元が見えないことが多いので、慎重に歩きましょう。特に水中の溝や水路などに注意しましょう。



● 車での避難は避けて

車は浸水すると動けなくなります。浸水深が30cm以上では、車の走行が困難になります。基本的には徒歩で避難しましょう。



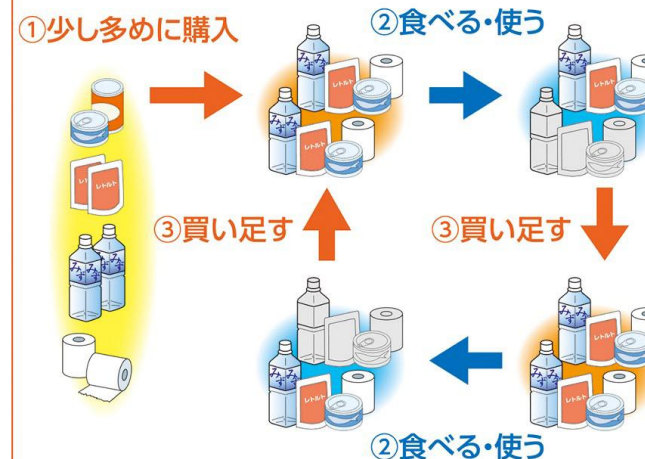
4 避難への事前の備え

いざという時のために、食料品や日用品などを備えておきましょう。また、上手な備え方や、必要な備蓄品を知っておきましょう。

Point!

■ ローリングストック法

このサイクルで、期限の短い食料品や日用品の備蓄品が無理なく備えることができます。



■ 携帯トイレを備蓄

発災後は、高い確率でトイレが使えなくなります。災害に備えて、携帯トイレや簡易トイレを備蓄しましょう。

携帯トイレ



洋式便器や簡易トイレ等にセットして使う、袋タイプのもので、簡単に使えて、ごみとして処理できます。

簡易トイレ



便器が使えないときのための、便座付きの小型トイレです。携帯トイレもあわせて備蓄が必要です。

5 避難への事前の備え【チェックリスト】



自宅避難(垂直避難)の備え

準備が出来たら
チェックを
入れよう!

家の備蓄の確認

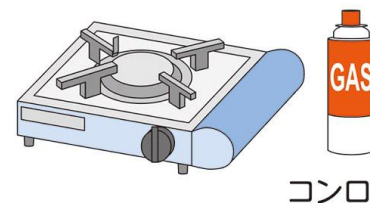
水害によりトイレや風呂、冷蔵庫などが使えなくなることを想定し、生活に必要な備えをしましょう。



携帯トイレ



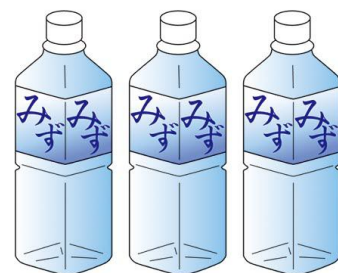
食料



コンロ

食料品

- ☐ 飲料水
- ☐ 食べ物(レトルトご飯、缶詰など)
- ☐ 加熱せずに食べられるもの(かまぼこ、チーズなど)
- ☐ 調味料(しょうゆ、塩など)
- ☐ 菓子類(チョコレート、ポテトチップスなど)



水は1人1日当たり3リットル

日用品

- | | | |
|-------------------------------|------------------------------------|---|
| ☐ 生活用水 | ☐ 携帯トイレ | ☐ 栄養補助食品 |
| ☐ 救急箱 | ☐ 持病の薬、常備薬 | ☐ カセットコンロ・ガスボンベ |
| ☐ ライター | ☐ ティッシュペーパー | ☐ その他(自分にとって必要なもの) |
| ☐ 乾電池 | ☐ トイレットペーパー | |
| ☐ 懐中電灯 | ☐ ウェットティッシュ | ☐ 生理用品 |
| ☐ ゴム手袋 | ☐ 食品包装用ラップ | ☐ 乳幼児用食品 |

性別や年齢によって変わる必要なもの

- ❗ 水は**1人1日当たり3リットル**あると安心です。
- ❗ 災害時における備蓄品は**最低7日分**が目安です。
- ❗ 事前に自宅上階など浸水深より高い所に置いておきましょう。
- ❗ 携帯トイレの備蓄数の目安

1日約 回 × 日 × 家族 人 = 最低 回分

焼津市ホームページからチェックリストをダウンロードできます。

焼津市 洪水ハザードマップ

検索



立退き避難(水平避難)の備え

準備が出来たら
チェックを
入れよう!

非常持ち出し袋の確認

避難時に最小限必要なものを避難バッグに入れて、備えをしましょう。



避難バッグ

- | | | | |
|------------------------------|--|--------------------------------|---|
| ☐ 飲料水 | ☐ 雨具 | ☐ 着替え | ☐ 救急箱 |
| ☐ 食べ物 | ☐ 携帯ラジオ | ☐ ヘルメット | ☐ 携帯トイレ |
| ☐ ナイフ | ☐ 携帯電話
(充電器・バッテリー) | ☐ 軍手 | ☐ その他
(自分にとって必要なもの) |
| ☐ 缶切り | | ☐ スリッパ | |
| ☐ 乾電池 | ☐ ティッシュペーパー | ☐ ゴミ袋 | |

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ 懐中電灯 | ☐ 使い捨てカイロ |
| ☐ 筆記用具 | ☐ ロウソク |
| ☐ タオル | ☐ ライター |
| ☐ 持病の薬、常備薬 | |



携帯バッテリー

貴重品

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| ☐ 貯金通帳 | ☐ 現金 |
| ☐ 健康保険証 | ☐ 印鑑 |
| ☐ 身分証明書 | |

感染症対策のための必需品

- ☐ マスク
- ☐ 体温計
- ☐ アルコール消毒液
- ☐ 除菌スプレー
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 使い捨て手袋



- ❗ **持ち出しやすい場所**に置いておきましょう。

3 情報の入手方法

1 警戒レベルと避難行動

洪水の警戒レベルは5段階に設定され、**避難するタイミングの目安**となっています。
「警戒レベル4 避難指示」までには、**必ず全員避難**しましょう。

高 ↑ 危険度 ↓ 低	警戒レベル	避難情報等	住民がとるべき行動
	5	緊急安全確保 〔市が発令〕	命の危険 直ちに安全確保！ 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、直ちに身の安全を確保しましょう。
	<警戒レベル4までに必ず避難！> 〔警戒レベル3〕や〔警戒レベル4〕の避難情報で必ず避難をしましょう 〔警戒レベル5〕の発令を待ってはけません！		
	4	避難指示 〔市が発令〕	速やかに全員避難 災害が想定されている区域にいる人は全員、安全な場所に避難しましょう。 自宅に安全な場所があれば、そこに移動するなどの自宅避難（垂直避難）が可能です。
	3	高齢者等避難 〔市が発令〕	速やかに高齢者等は避難 災害が想定されている区域で、避難に時間を要する人（高齢者・障がいのある方・乳幼児など）やその支援者は、速やかに避難を開始しましょう。
重要な避難情報	2	大雨注意報 洪水注意報等 〔気象庁が発表〕	自らの避難行動を確認 避難先・避難経路・持ち出し品を確認しましょう。
	1	早期注意情報 〔気象庁が発表〕	災害への心構えを高める 今後の気象情報を確認しましょう。

洪水による避難情報の発令について

- 市では、河川の水位や気象予測、現場状況など総合的に判断し、避難情報を発令します。
- 避難情報の伝達については、P.17「気象情報や避難情報の入手方法」をご覧ください。

【避難の呼びかけ】

洪水で「警戒レベル4 避難指示」発令の場合

警戒レベル4 避難開始

〇〇川が氾濫するおそれが高まったため、〇〇地区の浸水想定区域に対し「**警戒レベル4 避難指示**」を発令しました。
 ただちに避難行動をとってください。



避難情報発令の基準となる河川水位

市内を流れる主な河川には、国や県が水位計を設置し、インターネットで最新の観測情報※1を公開しています。また、主な観測所では、**避難判断の目安となる水位**が設定されています。設定水位と発令される避難情報の関係は下図のとおりです。
 ※1：P.19「SIPOSレーダー」を参照

水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
水防団が 水防活動の準備 を始める目安となる水位。	水防団 出動 の目安となる水位。	〔警戒レベル3〕 高齢者等避難発令の目安となる水位。	〔警戒レベル4〕 避難指示発令の目安となる水位。

河川	大井川	瀬戸川		朝比奈川	葉梨川	栃山川	木屋川	大津谷川
水位観測所	細島 (島田市)	勝草橋 (藤枝市)	入江橋	横内橋 (藤枝市)	八幡橋 (藤枝市)	新道橋	一色	栃山橋 (島田市)
氾濫危険水位	3.30	2.60	—	3.40	3.96	2.92	1.90	2.24
避難判断水位	2.70	2.25	—	2.80	3.40	2.40	1.70	2.06
氾濫注意水位	1.70	2.00	2.70	2.50	3.00	2.10	1.50	1.79
水防団待機水位	1.30	1.50	2.10	1.80	2.70	1.30	1.30	1.10
河川敷 ぶだんの水位								

単位: m

単位：m

雨の強さと降り方

気象情報で「強い雨」「激しい雨」などと表現される雨は実際どのような降り方でしょうか。

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受ける イメージ	人への影響	屋外の様子
10～20	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる 	地面一面に水たまりができる 
20～30	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる 	道路が川のようなになる 
30～50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る		
50～80	非常に激しい雨	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	傘は全く役に立たなくなる 	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界がわるくなる 
80～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる		

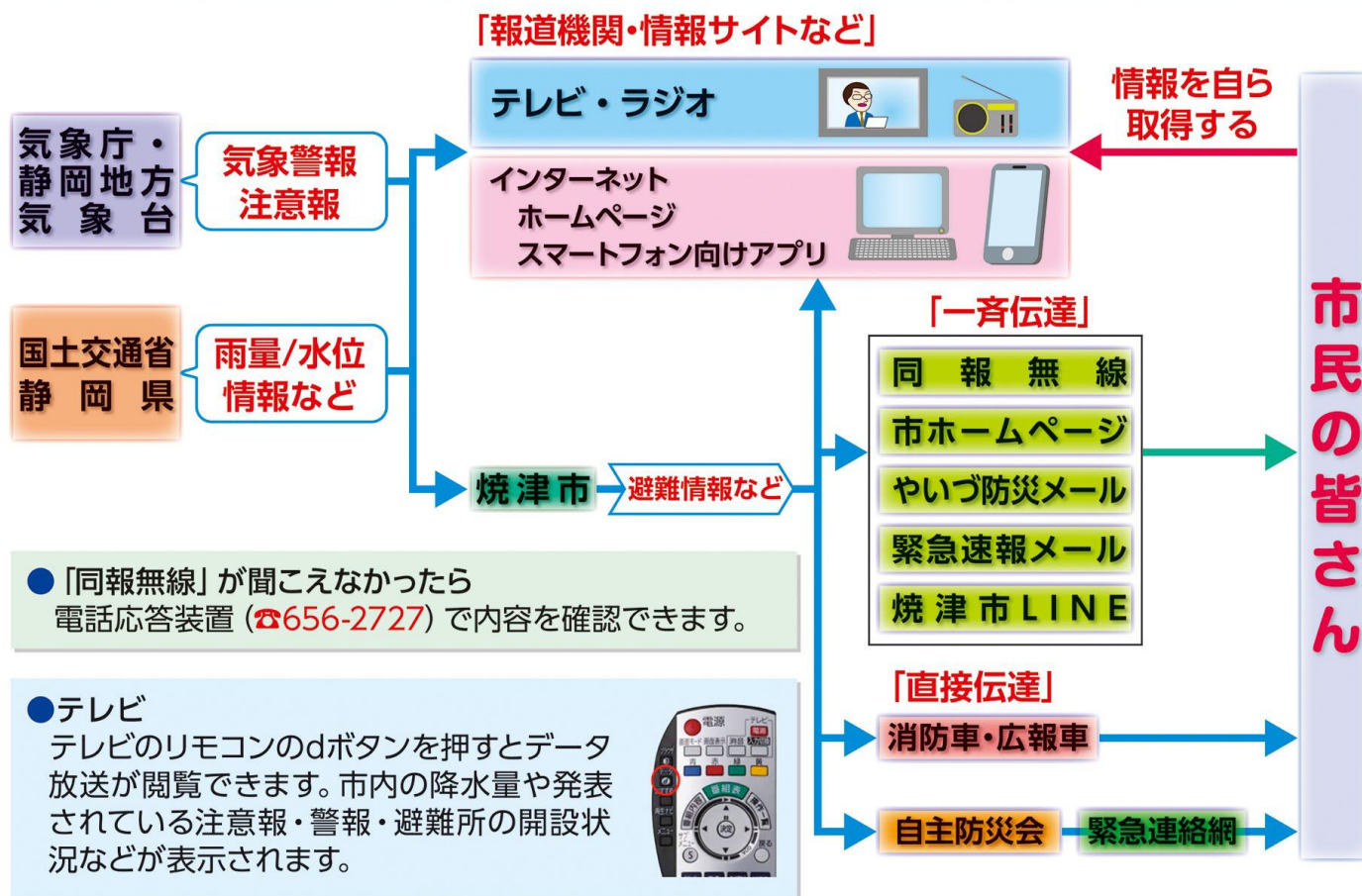
気象庁HPを引用

2 気象情報や避難情報の入手方法

災害が発生しそうなときには、**最新の情報**を入手することが大切です。あらかじめ、情報の入手方法を確認しておきましょう。

情報伝達経路

気象情報や避難情報などの防災情報は、各機関から以下のような経路で伝達されます。



メール・LINEなどで受け取る

「やいづ防災メール」からの情報【要事前登録】

災害に関する情報や同報無線の放送内容をメールでお知らせします。

登録方法 ■ 右記の2次元コードを読み取り

■ 空メールを送信 yaizu-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.com



防災メール



「焼津市LINE公式アカウント」からの情報【事前にLINEの友だち追加が必要】

・緊急情報 (災害・防災情報など)

・生活に必要な各種情報

必ず配信する緊急情報に加え、受信したい情報を選択して受け取れます。

「静岡県総合防災アプリ」の役立つ機能

・各種緊急情報の通知 ・現在地の防災情報 ・防災知識学習コンテンツ

各種情報の通知から平時の防災対策まで、災害時に幅広く役立つ機能を備えています。

<https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html>



インターネットにアクセスして情報を入手する

「焼津市ホームページ」で緊急時に確認できること

・緊急情報 ※台風や震災などの緊急時は、市のホームページ上部に「緊急情報」を掲載します。

<https://www.city.yaizu.lg.jp/>

焼津市

検索



「気象庁ホームページ」で見られる情報

・気象情報と注意報 ・潮位

・土砂災害、浸水害、洪水災害の発生危険度(キキクル) など

<http://www.jma.go.jp>



気象庁

検索

「静岡県／土砂災害警戒情報」で見られる情報

・土砂災害情報マップ ・土砂災害警戒情報

・土砂災害110番など

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/keikai/>

静岡県 土砂災害警戒情報

検索



焼津市水防監視システム

市内の河川情報等が確認できるお役立ちサイト

水防監視システム【画面イメージ】



【カメラ画像】



【外部サイト表示イメージ】

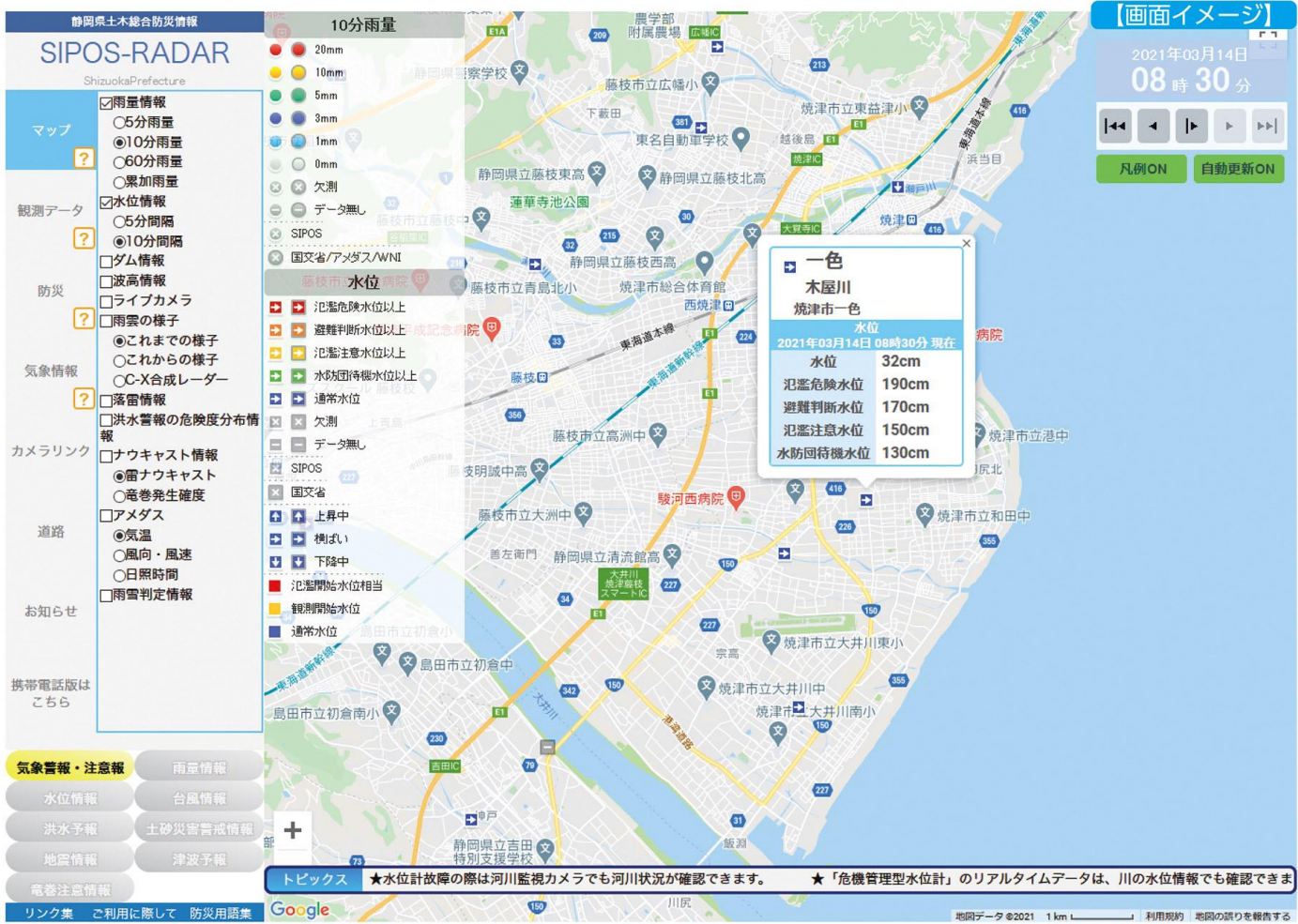
気象情報 (外部サイト)

- ・気象警報・注意報
- ・雨雲の動き (1時間後までの降雨予測)
- ・今後の雨の動き (15時間後までの降雨予測)
- ・GPV気象予報 (最長10日先までの雨雲の動き・雨量の予測)
- ・川の防災情報
- ・SIPOS-RADAR (静岡県)
- ・川の水位情報

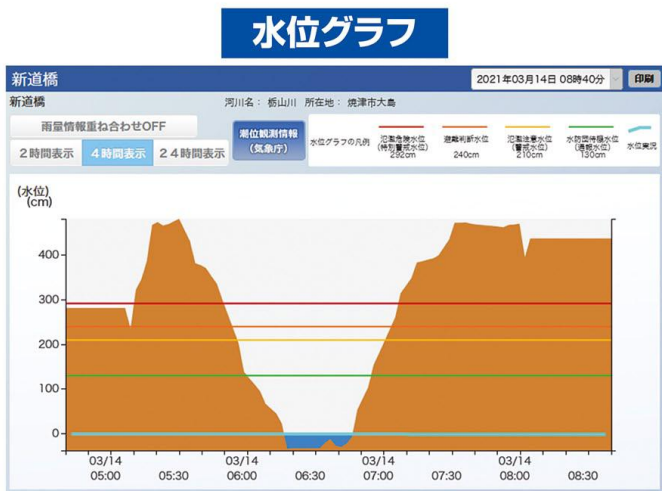
現在の河川や海岸の様子がカメラ画像で確認できます。また、気象情報等が確認できる外部サイトを集約しています。

静岡県「SIPOSレーダー」

河川の水位や雨量は「サイポスレーダー」で最新の情報を確認できます。
防災情報や気象情報など知ることができる、静岡県土木総合防災情報サイトです。



知りたい河川の水位や雨量の観測箇所をクリックすると、現在の観測値と過去からの変化を見ることができます。



主な観測所には避難判断の目安となる「氾濫危険水位」や「避難判断水位」が表示されています。
(詳しくはP. 16参照) 水位の変化に注意して避難行動の参考にしましょう。

<http://sipos.pref.shizuoka.jp/>

4 事前の心得

1 避難所

市では、風水害における避難所を公民館、小学校・中学校の体育館から開設することとしております。(状況に応じて学校の校舎も使用します。)

- 避難所の開設状況は、やいづ防災メールや市ホームページで確認できます。
- なお、避難所以外の各地域で管理する避難施設(公会堂など)については、自主防災会へ開設状況を確認してください。

指定避難所一覧(洪水ハザードマップ北部版)

No	施設名称	所在地	電話	索引	避難階層	No	施設名称	所在地	電話	索引	避難階層
1	二区コミュニティ防災センター	本町5-9-1	628-3359	H-5	2F	21	和田小学校	田尻541	624-4507	L-5	1F
2	三区コミュニティ防災センター	本町2-13-18	628-5236	H-6	2F	22	黒石小学校	大住1246	629-4855	J-3	2F
3	四区コミュニティ防災センター	焼津6-10-17	628-2445	H-5	2F	23	焼津中学校	焼津2-10-28	628-7255	H-5	2F
4	第五コミュニティ防災センター	駅北5-1-24	627-8401	F-5	2F	24	大村中学校	大村3-25-1	628-3851	G-4	2F
5	小川新地コミュニティ防災センター	小川新町1-11-2	627-0684	H-5	2F	25	小川中学校	東小川4-21-1	628-3777	I-5	2F
6	浜当目コミュニティ防災センター	浜当目3-1-45	627-7283	F-6	2F	26	港中学校	田尻北584	624-6010	K-6	2F
7	新屋コミュニティ防災センター	本町1-3-28	626-0487	G-5	1F	27	豊田中学校	小土301-2	627-1166	G-3	2F
8	石津コミュニティ防災センター	石津1233-1	623-5586	J-5	1F	28	東益津中学校	中里416	628-4428	E-5	2F
9	坂本コミュニティ防災センター	坂本971-5	626-0023	D-4	1F	29	大富中学校	中根1-1	624-4329	K-3	1F
10	小川第13コミュニティ防災センター	小川3118	623-7035	I-5	2F	30	和田中学校	田尻1984	624-4339	L-5	1F
11	大村公民館	大覚寺3-5-5	629-3351	G-3	2F	31	(県)焼津水産高等学校	焼津5-5-2	628-6148	H-5	2F
12	焼津文化会館	三ヶ名1550	627-3111	H-4	1F	32	(県)焼津中央高等学校※1	小土157-1	628-6000	G-2	—
13	港小学校	石津港町40-2	624-0210	K-6	2F	33	焼津公民館	本町5-6-1	626-0888	H-5	3F
14	焼津東小学校	栄町5-14-1	628-6348	G-5	2F	34	小川公民館	小川2724-1	624-8191	J-5	2F
15	焼津西小学校	塩津117-1	628-3064	H-4	2F	35	和田公民館	田尻1992-2	623-1570	L-5	1F
16	焼津南小学校	焼津5-5-1	628-2321	H-5	2F	36	港公民館	石津港町40-1	624-8855	K-6	1F
17	小川小学校	小川2525	624-3097	J-5	2F	37	東益津公民館	石脇上65	628-2607	E-5	2F
18	豊田小学校	五ヶ堀之内2	628-3201	H-2	2F	38	豊田公民館	小屋敷258-1	627-7310	H-2	2F
19	東益津小学校	石脇上65	628-4427	E-5	2F	39	大富公民館	中根新田93-1	624-4302	K-3	1F
20	大富小学校	中根新田637	624-4316	L-3	1F						

指定避難所一覧(洪水ハザードマップ南部版)

No	施設名称	所在地	電話	索引	避難階層	No	施設名称	所在地	電話	索引	避難階層
1	利右衛門地区コミュニティ防災センター	利右衛門2559-2	—	F-7	2F	13	和田中学校	田尻1984	624-4339	B-9	1F
2	吉永地区コミュニティ防災センター	吉永1933-1	—	F-8	1F	14	大井川中学校	下江留191	622-0038	E-5	2F
3	高新田地区コミュニティ防災センター	高新田1853-1	—	E-8	1F	15	(県)清流館高等学校	上新田292-1	622-3411	B-5	1F
4	高新田東地区コミュニティ防災センター	高新田2172-2	—	E-8	2F	16	大島体育館	大島738	—	B-6	※2
5	藤守地区コミュニティ防災センター	藤守2025	—	D-9	1F	17	和田公民館	田尻1992-2	623-1570	B-9	1F
6	下小杉地区コミュニティ防災センター	下小杉537	—	C-9	2F	18	大井川公民館	宗高900	622-3111	D-6	2F
7	大井川港コミュニティ防災センター	飯淵2160	622-1337	G-7	3F	19	ディスカバリーパーク焼津天文科学館	田尻2968-1	625-0800	B-10	1F
8	大富小学校	中根新田637	624-4316	A-7	1F						
9	和田小学校	田尻541	624-4507	A-9	1F						
10	大井川西小学校	上泉1688-1	622-0049	C-4	1F						
11	大井川東小学校	宗高428	622-0010	D-6	2F						
12	大井川南小学校	吉永490	622-0104	E-7	2F						

- ・避難階層は、想定される浸水深より高い階層を示しています。
- ・一部の施設は北部版と南部版の両方に表示されています。
- また、その施設の番号は北部版と南部版で異なります。
- ※1：帰宅困難者が使用する避難所です。
- ※2：浸水の状況によって使用できない可能性がある施設です。

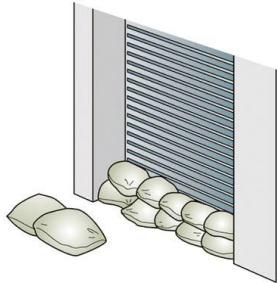
2 家庭でできる浸水対策

簡易水防工法

家庭でできる浸水対策として、「土のう」や「止水シート」、「簡易水のう」を使って浸水を防止する方法があります。

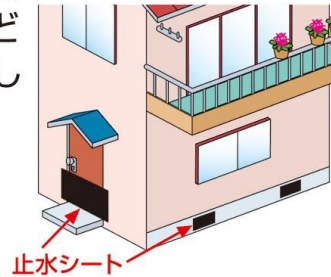
●土のう

いざという時のために、事前に土のうを準備しておき、浸水を防ぎましょう。



●止水シート

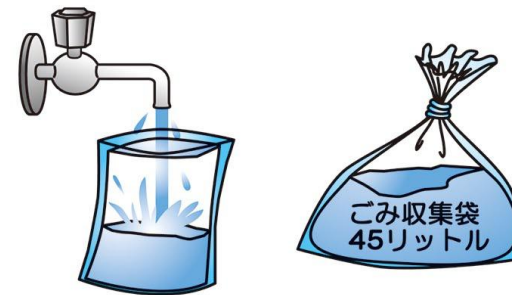
建物の玄関ドアや換気口を止水シートなどで塞ぎ、浸水を防ぎましょう。



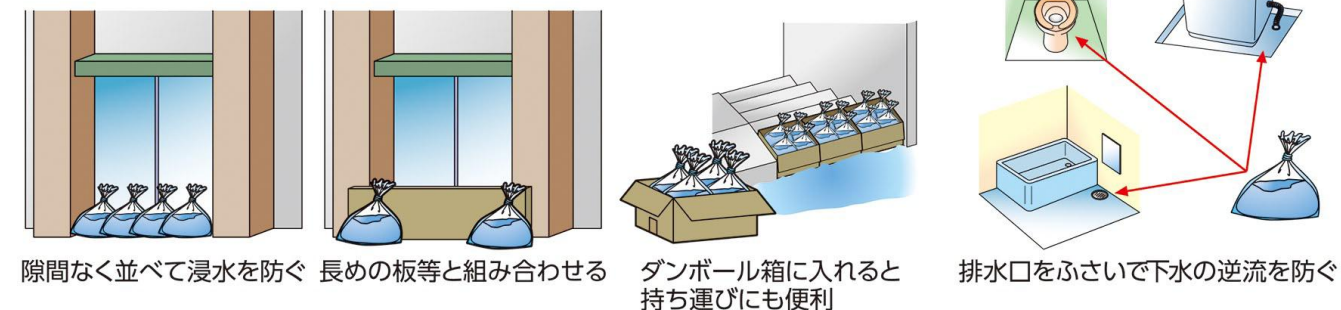
●簡易水のう

■簡易水のうの作り方

45リットル程度の容量のごみ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れ中袋、外袋ともひもでしばります。(持ち運べる程度)



■簡易水のうの利用方法



土のうステーションの利用

市では台風、大雨などに備え、いつでも土のうを使用できるように、土のうステーション(土のう置き場)を設置しています。設置場所は、洪水ハザードマップや焼津市水防監視システム(P.18参照)で確認できます。

●利用上の注意

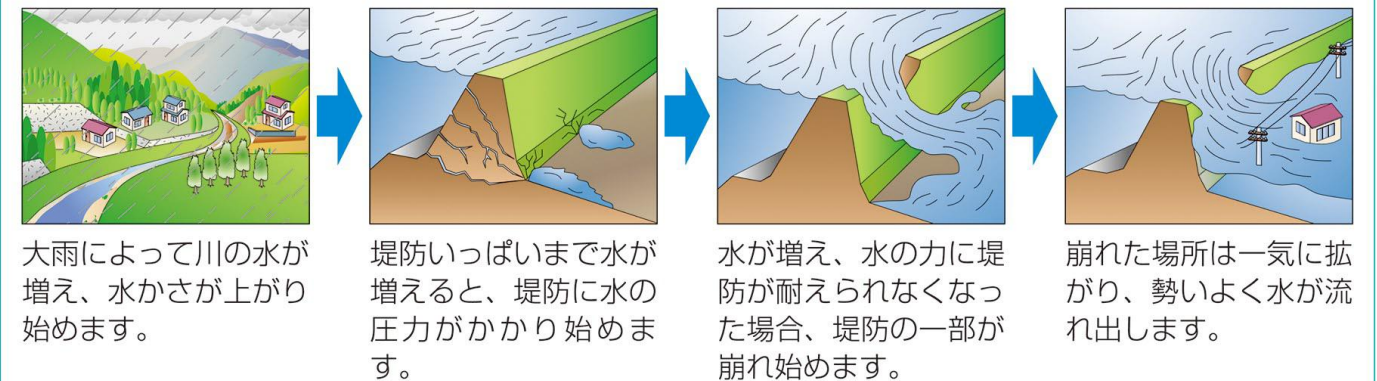
- ・持ち出しは原則として、1世帯20袋までです。
- ・水防以外の利用目的での持ち出しはできません。
- ・使用後の土のうは返却せず、各世帯で保管などをお願いします。
- ・土のうが不足している時は、河川課へ連絡してください。



3 水害発生メカニズム

外水氾濫(洪水)発生メカニズム

大雨によって、河川の水が溢れたり、堤防が崩れた場合、水が勢いよく流れ出します。これを「外水氾濫」といいます。



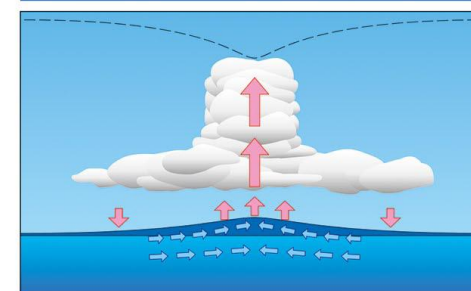
内水氾濫発生メカニズム

大雨で河川の水位が上がると、市街地などで降った雨水を河川に排水できなくなり、水が溢れてしまいます。これを「内水氾濫」といいます。



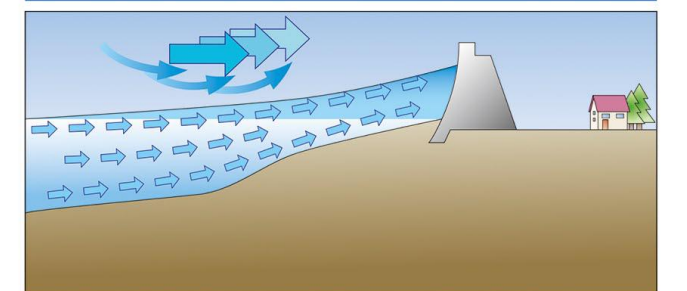
高潮発生メカニズム

気圧低下による海面の吸い上げ



台風や低気圧の中心では、気圧が周辺より低いため、中心付近の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。

風による吹き寄せ



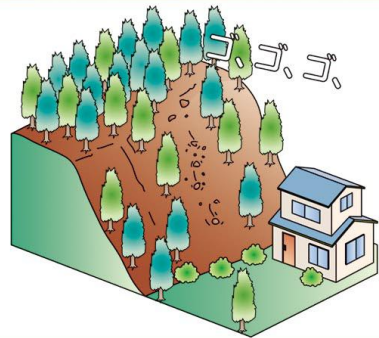
台風に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと、海岸付近の海面が上昇します。水深が浅いほど、風の吹き寄せ作用がよく働き、高潮が発達しやすくなります。

4 土砂災害の基礎知識

土砂災害の種類

土砂災害は、大雨や地震などが引き金となって、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れたりして、家や田畑に被害を及ぼす自然災害です。主なものとして、「**がけ崩れ(急傾斜地崩壊)**」「**土石流**」「**地すべり**」などがあります。

がけ崩れ(急傾斜地崩壊)



急な斜面が崩れる現象です。

前兆

- がけに割れ目が見える。
- がけから水がわき出ている。
- がけから小石がぱらぱらと落ちてくる。

土石流

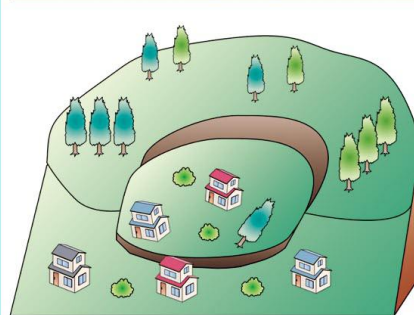


山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる現象です。

前兆

- 山鳴りがする。
- 急に河川の水が濁り、流木が混ざっている。
- 雨が降り続けているのに河川の水位が下がる。

地すべり



やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く現象です。

前兆

- 沢や井戸の水が濁る。
- 地面にひび割れができる。
- 斜面から水がふき出す。

土砂災害警戒区域等について

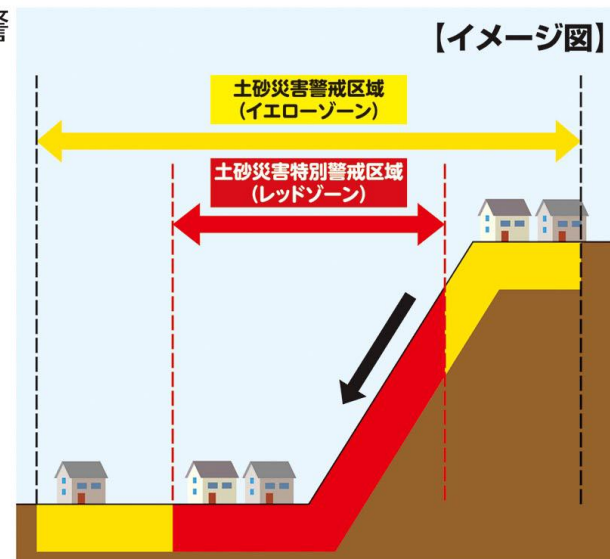
土砂災害の警戒すべき区域には、「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」があります。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂等の崩壊により被害を受けるおそれがある区域(地図上の黄色枠で示しています。)

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂等の崩壊により建築物に損壊が生じ、住民の生命や身体に著しい危害が生じるおそれがある区域(地図上の赤色枠で示しています。)



土砂災害(特別)警戒区域は、焼津市土砂災害ハザードマップでも確認することができます。

焼津市 土砂災害ハザードマップ

検索



5 浸水ナビ

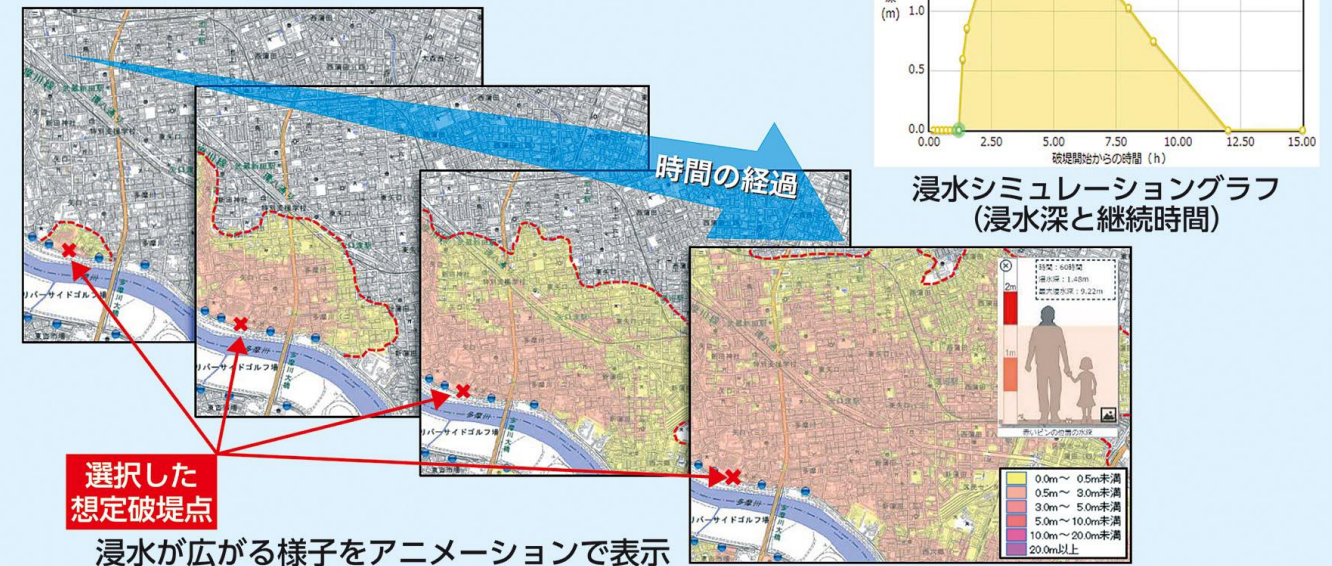
氾濫シミュレーションを使ってみよう

～浸水ナビからわかること～

想定される浸水の情報をより詳しく確認できます。〔対象：大井川・瀬戸川・朝比奈川・葉梨川・板山川・木屋川〕

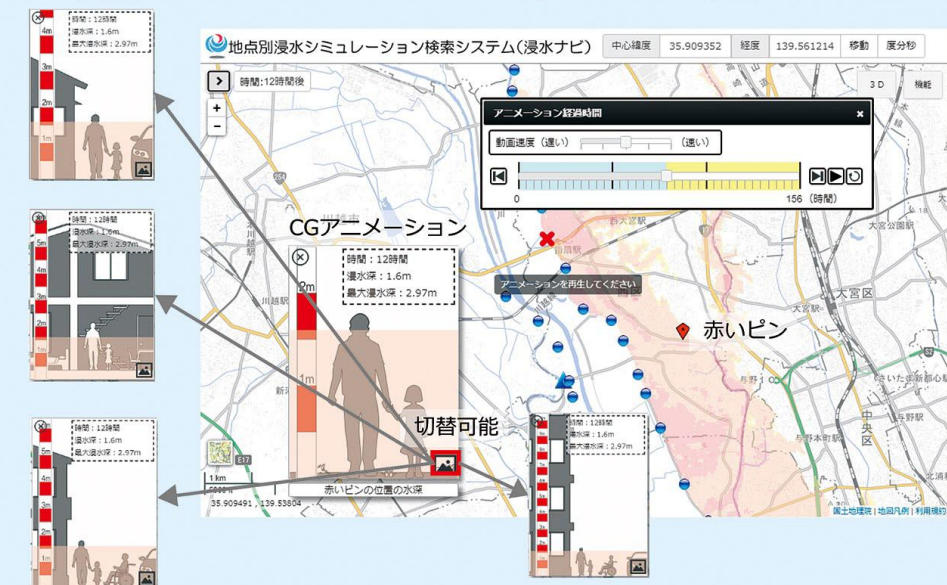
●氾濫が生じた場合の浸水範囲や浸水深の変化が分かります

想定破堤点を選択することで、氾濫した場合の浸水の広がりを地図上に示すほか、調べたい箇所の時間ごとの浸水深をグラフで表示します。



●CGアニメーションでどの程度の浸水深であるかが分かります

スケールの異なった背景(5種類の凡例)を切り替えることで、調べたい箇所(赤いピン位置)の浸水深の変化をCGアニメーションにより分かりやすく表示できます。



ほかにも、浸水到達時間や浸水継続時間が地図上で確認できます。

浸水ナビホームページ

浸水ナビ

検索

アドレス : <https://suiboumap.gsi.go.jp/>

スマートフォンでも利用できます



● わが家の避難行動計画

記入例

～警戒レベル4で避難する場合～

やいづ版



家の避難行動計画

気象庁や市から出される情報
(気象情報や避難情報など)

あなたの行動(記入欄)

数日前

警戒レベル1

- ・台風予報
- ・早期注意情報

- ・テレビのdボタンで
今後の気象状況を確認
- ・家族の今後の予定を確認
- ・ハザードマップを確認
- ・「わが家の避難行動計画」を確認

台風が近づく

警戒レベル2

- ・大雨注意報
- ・洪水注意報
- ・高潮注意報

- ・非常持ち出し袋の確認
- ・服用中の薬の残りを確認
- ・家の周りを片付ける
- ・避難先を確認

雨が強くなり
川の水位が
だんだん
増える

- ・大雨警報
- ・洪水警報

- ・テレビのdボタンで気象状況を確認
- ・インターネットで●●川の水位を確認
- ・避難しやすい服に着替える

川の水位が
さらに増える

- ・●●川で避難判断水位到達

警戒レベル3 「高齢者等避難」発令

高齢者など避難に時間
のかかる方とその支援者
(家族等)は速やかに
避難を開始する

- ・気象状況を確認
避難先
- ・避難開始【 】

- ・●●川で氾濫危険水位到達

警戒レベル4 「避難指示」発令

災害が想定されている区域にいる人は
安全な場所に避難する(避難完了)

- ・避難完了
- ・気象状況を確認
- ・インターネットで●●川の水位を
確認

- ・避難所の開設状況を確認
避難先
- ・避難開始【▲▲公民館】

※ここまでに全員避難完了

警戒レベル5 「緊急安全確保」発令

※必ず発令される情報ではありません。
警戒レベル5の発令を待ってはけません!

すでに災害が発生・切迫している状況

・命を守る行動

- ・避難所への避難経路が危険であると
自ら判断した場合は、命を守るため
に高い場所へ移動する。

この避難行動計画は、風水害に対する**基本的な流れ**を目安に示したものであり、**必ずしもこのタイミングで避難情報が発令されるとは限らない**ので、注意してください。

27

焼津市ホームページから様式をダウンロードできます。
そのほかの記入例もこちらに掲載しています。

焼津市 洪水ハザードマップ

検索



やいづ版

家の避難行動計画



気象庁や市から出される情報
(気象情報や避難情報など)

あなたの行動(記入欄)

数日前

警戒レベル1

- ・台風予報
- ・早期注意情報

台風が近づく

警戒レベル2

- ・大雨注意報
- ・洪水注意報
- ・高潮注意報

雨が強くなり
川の水位が
だんだん
増える

- ・大雨警報
- ・洪水警報

川の水位が
さらに増える

- ・●●川で避難判断水位到達

警戒レベル3 「高齢者等避難」発令

高齢者など避難に時間
のかかる方とその支援者
(家族等)は速やかに
避難を開始する

- ・●●川で氾濫危険水位到達

警戒レベル4 「避難指示」発令

災害が想定されている区域にいる人は
安全な場所に避難する(避難完了)

すでに災害が発生・切迫している状況

警戒レベル5 「緊急安全確保」発令

※必ず発令される情報ではありません。
警戒レベル5の発令を待ってはいけません!

避難先

・避難開始【 】

・避難完了

避難先

・避難開始【 】

※ここまで全員避難完了

・命を守る行動

・避難所への避難経路が危険であると
自ら判断した場合は、命を守るため
に高い場所へ移動する。

この避難行動計画は、風水害に対する**基本的な流れ**を目安に示したものであり、**必ずしもこのタイミングで避難情報が発令されるとは限らない**ので、注意してください。

28